

令和6年度 体育に関する指導改善計画

東広島市 立 板城 小学校

令和5年度の重点課題

- 女子
 - ・全学年において運動やスポーツは嫌い、やや嫌いと答えた児童の割合が男子よりも3.3%多い。
(前年度比:2.3%↓)

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- 第2、第4火曜日に体育朝会を実施し、設定した時間を走り続けたり、飛び続けたりする運動を行い、走力・持久力の向上を図った。
- 児童会の体育委員会を中心に、週に2回「外遊び教室」を行い、鬼ごっこやドッジボールなどの走る、投げる遊びを多く取り入れた。
- 実業団の駅伝選手から、長距離の走り方や呼吸法、準備運動の仕方などを学ぶ機会を設定した。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

性別	種目	令和5年度	令和4年度	県平均値	全国平均値
男子	握力	16.80	17.80	21.25	17.60
	上体起こし	31.55	33.40	40.40	38.70
女子	握力	17.80	17.80	19.50	19.50
	上体起こし	17.60	17.60	31.55	31.55

※ 県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

性別	種目	令和6年度	令和5年度	県平均値	全国平均値
男子	握力	16.80	17.80	21.25	17.60
	上体起こし	31.55	33.40	40.40	38.70
女子	握力	17.80	17.80	19.50	19.50
	上体起こし	17.60	17.60	31.55	31.55

※ 県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

性別	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	性別	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	72.22	25.00	2.78	0.00	女子	58.62	24.14	13.79	3.45
第5学年					第5学年				

学校独自の意識調査

性別	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	性別	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	72.7	22	4.5	4.5	女子	73.9	17.1	9	0
第1学年					第1学年				
第2学年	76	20.6	0	3.4	第2学年	76	16	8	0
第3学年	78.4	21.6	0	0	第3学年	57.1	28.7	3.5	10.7
第4学年	64.3	35.7	0	0	第4学年	57.8	30.7	11.5	0
第5学年	77.2	25	2.7	0	第5学年	58.6	24.1	13.7	3.4

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツは嫌い、やや嫌いと答えた児童の割合:2.7%
- 女子
 - ・運動やスポーツは嫌い、やや嫌いと答えた児童の割合:6.0%
 - ・学年に上がるにつれて否定的な意見が増えている。(高学年:7.2%)
- 全体会
 - ・男子児童に比べて、女子児童の否定的な意見が多く見られ、学年が上がるにつれて増加傾向にある。

体力面での課題

- 男子
 - ・50M走では、県平均より0.9秒下回っている。
- 女子
 - ・長座体前屈では、県平均よりも4.7cm下回っている。

体育の授業で行う取組内容

- ・年間を通して、運動能力を総合的に高める準備体操を継続して実施する。(板城マッスル体操)
- ・授業の導入時に高めたい力を明確にした基礎運動を取り入れる。
(柔軟体操、50m走のスタート練習など)

体育の授業以外で行う取組内容

- ・毎月第2、第4火曜日の体育朝会を継続し、学校全体で体を動かす時間の確保を行う。
- ・運動が苦手な児童が楽しんで体を動かすことができるよう、体育委員会による「外遊び教室」を継続して行う。
- ・体育委員会による、「体力テスト教室」開催し、体を動かすことが苦手な児童に対し、基礎的な動きの習得を目指す。
- ・家庭学習に「体力づくり」の項目を設定し、月ごとに内容を変更し、毎日の反復を行う。(柔軟体操や、縄跳びなど)

**令和7年度の
重点目標値**

- 県平均、全国平均値を上回る種目を増やし、記録の向上を図る。
- 運動やスポーツをすることが嫌い、やや嫌いと答える児童の割合の低下を図る。(令和6年度:7.9%)